

# 探偵ニュース!

Vol. 2 発行日：2016年9月1日

presented by 原一探偵事務所

発行元：〒350-0826 埼玉県川越市上寺山2-1 原一探偵事務所 代表取締役 大原一泰



## CONTENTS

トップニュース

高齢者サポートに探偵の力を！……	1
対談 山口浩司×正木章夫 ……	2
これが新宿支社の実力だ！ ……	3
教えて探偵さん ……	3
探偵あるある物語 ……	4
ハライチ・リサーチ ……	4
お知らせ ……	4

## 高齢者サポートに探偵の力を！

業界のリーディングカンパニー、原一探偵事務所では浮気調査だけでなく、高齢者の徘徊調査、家出人捜索、いじめ調査、ストーカー調査、遠方在住家族の調査など、サービスの範囲は生活全域にわたっています。調査実績42年、解決実績は8万件以上という「安心と信頼」の証を持つ原一探偵事務所だからこそ実現できる生活全域におけるサービス。今回は高齢者サポートにスポットをあてて紹介します。

今年6月、総務省は平成27年国税調査の抽出速報集計の結果を発表し、高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）が過去最高の26.7%に達することがわかった。加速する日本の高齢化を、探偵という立場から支える業界トップクラスの企業、それが原一探偵事務所だ。42年間の実績と8万件以上の解決実績を誇る原一探偵事務所は、生活全域へサービスの拡大を目指している。高齢者と家族をサポートはその一環で、原一探偵事務所ならではの強みを生かした取り組みである。

高齢化率が過去最高をマーク、探偵が社会にできることは？



原一探偵事務所 山口浩司 常務取締役  
探偵業界を知り尽くしたプロフェッショナル。前職はホテルマン。その当時、原一探偵事務所の調査に関わり、その高い技術力に感銘を受け転職。技術開発と人材育成に尽力。

## 高齢者サポートで社会の窮地を救う 探偵業界初、福祉との架け橋に挑む

「当社の質の高い調査力で高齢者と家族を多方面からサポートできると確信しています。CSRの視点から、社会貢献的な意識を高く持っています」と、常務取締役の山口浩司。

安心と信頼があるからこそ  
高齢者サポートに挑む

これまで、原一探偵事務所では、高齢者サポートを前面に打ち出してはいなかったが、高齢者関係の相談は増加傾向にある。

「一見結びつかない高齢者と探偵ですが、相談を伺っているうちに我々の使命に気付かれました」

安心と実績がある原一探偵事務所だからこそ、大切な家族の相談

### 高齢化社会を支えるため 原一探偵事務所ができること

1. 徘徊高齢者の捜索
2. 高齢者の行動調査
3. 高齢者の身辺調査
4. 高齢者の見守り
5. 遠方在住家族の相談対応

ができる。現在のところ、相談は主に徘徊高齢者の捜索で、解決実績も多数あげている。

全国に支社があることから、同居家族だけでなく、遠方に住む高齢者家族の行動や身辺調査を依頼されることもある。全国に優秀な探偵を配置する原一探偵事務所だからこそ、可能な調査といえる。

「今後は医師や専門家の監修の元、認知症に関係する行動調査も行っていきたいと考えています」

セキユリティ企業などが近年、高齢者サービスに取り組んでいるが、それとは異なる、原一探偵事務所の強みを生かした独自のサービスに期待が膨らむ。



正木章夫  
調査員、指導教官。探偵歴17年、調査件数5,000件以上のベテラン。指導教官としては「鬼の正木」と呼ばれるほど厳しい。

# 高齢者の徘徊搜索、行動調査、周辺調査 家族に代わって高齢者の安全を見守る



対談

調査員指導教官

正木章夫



常務取締役

山口浩司



## 追尾調査の報告が 認知症検査のきっかけに

6月に発表された警察白書によると、認知症または認知症の疑いによる行方不明者の申し出が1万2千件に上り、過去最高になりました。この結果をどう受けとめていますか？

山口浩司「探偵に依頼をして、初めて家族が認知症を疑ったというケースが多く、力になれるところは多いと感じています」

正木章夫「実際に高齢者の追尾を依頼され、何度も何度も同じところを歩いていたケースがありました。家族にとっては、対象者の行先が不安だったようですが、行動的異変が明らかになり、結果的に

認知症などの病気を意識するきっかけになったと思います」

山口「高齢者の行動調査で、認知症の早期発見につながればと考えています」

正木「浮気調査で依頼されたケースですが、対象者は浮気ではなく行動異変があったということもありました。高齢者の場合は、我々もあらゆるケースを想定して調査に臨んでいます」

## 遠方に在住する家族の 安心につながる

家族形態の変化から、家族が離れて暮らすケースは少なくありません。遠方に在住する家族の依頼にはどのように応えますか？

山口「当社は、全国都市に18拠点あり、遠方家族の依頼は強みとするところですよ」

正木「行動調査はもちろんですが、家の外観を調べてほしいなど、周囲や環境調査の依頼にも応えています」

山口「家族ごとに心配するポイントが異なりますので、臨機応変に対応しています」

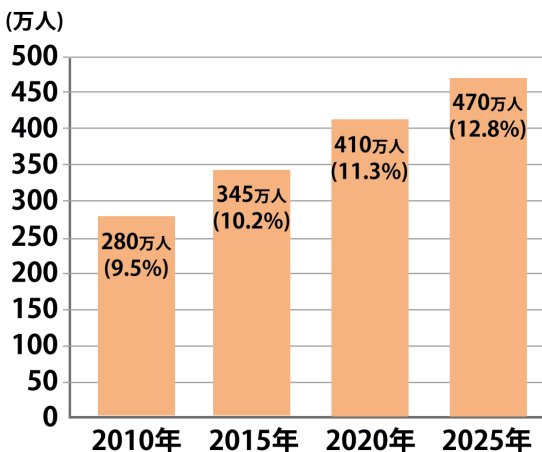
正木「今まで難しい案件を何千と

## 原一探偵事務所が受けた 高齢者に関する相談例

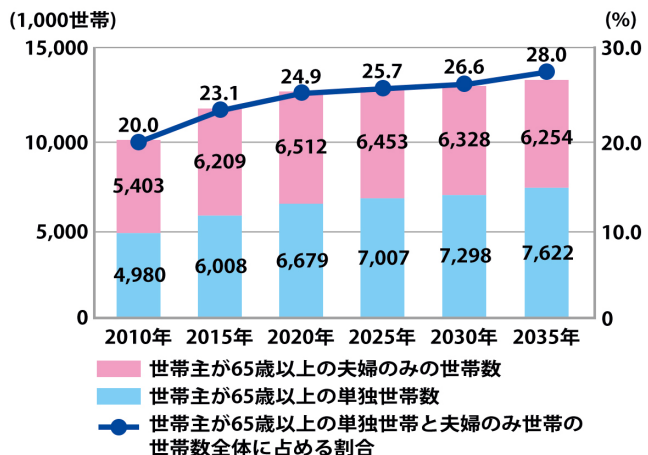
- ・遠方で一人暮らしをしている母の外出先を調べてほしい
- ・父が住むケアハウスでトラブルがないか調べてほしい
- ・出かけた母の帰りがいつも遅い。追尾調査をしてほしい

※守秘義務のため情報を一部変更しています

「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の  
高齢者数の推計  
(カッコ内は65歳以上人口対比)



世帯主が65歳以上の単独世帯及び  
夫婦のみの世帯数の推計



「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱとは？

- Ⅱ a) 「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態」
- Ⅱ b) 「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭内で見られるようになるが、誰かが注意していれば自立できる状態」

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」

厚生労働省 老健局高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室発表「認知症高齢者数について」





原一探偵事務所 守護神の要塞

# これが新宿支社の実力だ!

PART1



## 支社長紹介



**菊池正志**  
原一探偵事務所、  
新宿支社支社長。  
探偵歴20年。敏腕探偵として活躍後、2014年5月に新宿支社長に就任。

「探偵に転職する前はホテルマンとして10年勤務していました」、世の中にもっと貢献できる仕事がしたいと、もともと興味があった探偵業に転職。

「実際の仕事は時間が不規則で自分の時間がとれず、大変なことも多々ありますが、あの時一歩踏み出して正解でした」

## 危険な地域でも果敢に調査に挑む

新宿支社は新宿駅西口と南口から徒歩5分。好立地に建つビルの最上階にあります。東京中心部から西東京、山梨、長野方面の依頼が多く、関東の拠点となっています。歓楽街とビジネス街の2つの顔をもつ新宿。しかし、土地柄、危険な地域での調査依頼も多く、暴力団抗争と間違えられることもあるとか。危険と隣り合わせの場所で捜査をするための秘密のノウハウがあるそうです。



## 相談しやすい設備が整う



新宿の中心地で堂々と看板を掲げるのは、新宿支社の自信の現れ。誠実で質の高い調査を行っている証拠です。

入りやすいエントランス、相談者が話しやすい広々とした応接室は、“新宿にある探偵社”というグレーなイメージとはほど遠く、清潔で誠実な印象です。

探偵社の中には、登記だけして実態のない支社を持つ企業がありますが、原一探偵事務所は、アクセスのよい好立地に実在する支社を構え、新宿支社はその代表的な存在です。



白を基調とした  
落ち着いたインテリア

新宿支社に一歩入ると、都会の喧騒を忘れさせてくれる落ち着いた雰囲気に包まれます。しかし、調査は危険と隣り合わせ……次回パート2では、本格調査の実態に迫ります。



東京都庁を背にして、新宿の摩天楼にそびえ立つ新宿支社。まるで、ドラマのワンシーンのようだ。

分からないことは  
聞いてちょうだい!

## 教えて探偵さん

**Q. 電話相談は何時まで対応可能ですか？**

A. 原一探偵事務所では、毎日24時間、電話を受け付けています。土日、祝日、年末年始も休みません。本社（埼玉県川越市）が中枢機関となり、全国からの電話相談を受け付けています。夜中や休日は電話対応業者に委託しているところもありますが、原一探偵事務所は専門の電話オペレーターが24時間体制で対応しています。独自に教育されたエキスパートなので、安心して相談してください。

**Q. 電話相談にお金はかかりますか？**

A. 電話でも対面でも、原一探偵事務所では相談に一切料金はかかりません。契約後に相談料を請求することはありません。何度相談されてもかまいません。ただし、浮気はタイミング、人の搜索はスピードが大切です。チャンスを見逃さず決断することも重要なのです。われわれ探偵は、時間というのはとても重要だと感じています。時間経過によって、不測な事態に陥ることもあるからです。



presented by 原一探偵事務所

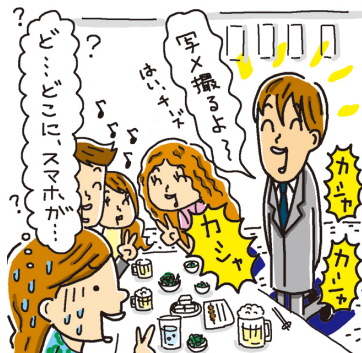
# 探偵 **あるある** 物語

調査員にとっては日常だけど、一般人にはビックリな“探偵あるある”をご紹介します  
**隠し撮りのプロは、プライベートも……**

「飲み会や旅行などプライベートで写真やビデオを撮るときも、なぜかカメラやスマホを隠しちゃうんです」とベテラン探偵さん。カシャカシャと音はすれども、カメラやスマホの姿は見えぬ……。 「仕事ではシャッター音がしないカメラを使い撮影をしています、普通のスマホだとシャッター音だけが鳴り響いて、一般人は不気味に感じますよね（笑）」。

探偵仲間で遊びに行くと、誰もカメラやスマホを出さないのに「今日は写メをいっぱい撮ったね〜」とアルバムを見せ合うことも。「正面でカメラを構えると、逆に撮影できないんですよ（笑）」

撮影してすぐ姿を隠すことも。「壁に隠れてから、プライベートなのになんでこんなことしているんだろう……って、我ながら職業意識の高さに感心しちゃいます」。ベテラン探偵になると、逆に隠し撮りされていることにピンときて、ポーズをとったりする人もいるという。その道に長けてくると、隠れて撮影してもお見通しというワケ。隠し撮りのプロの実態は、プライベートも隠し撮りだった!?



## お知らせ

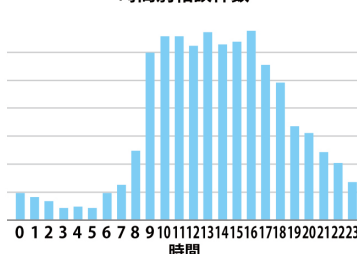
- ・9月1日、原一探偵事務所のニュースレター第2号を発行しリリースを発信しました。
- ・メディア取材協力を随時、受け付けています。
- ・人探し、家出調査、浮気調査の依頼を個人および、メディア協力として承っております。
- ・浮気コメンテーターがおります。メディア協力をいたしますので、お気軽にお問い合わせください。
- ・探偵体験を不定期に行っております。メディアに合わせたカスタマイズも可能です。

## ハライチ・リサーチ

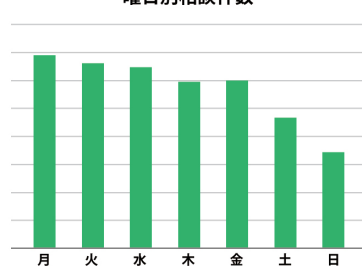
原一探偵事務所の独自調査で、探偵業界の裏側が見える!

### 月曜日の午後1時と4時に相談が最も多い

時間別相談件数



曜日別相談件数



原一探偵事務所が1年間に受けた電話相談件数の曜日ごとの比較では、月曜日が最も多く、時間では午後1時と4時台が最も多いことがわかりました。浮気調査の場合、家族が家にいる週末は相談ができず、月曜日に持ち越すケースが多いからだと考えられます。1日の時間別相談件数を見ると、日中に集中し、家族が別々に行動する時間帯を狙って相談しているようです。

テレビでおなじみの探偵社

**原一探偵事務所**  
ハライチ

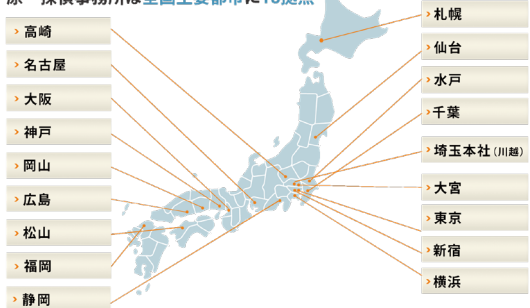
信頼実績 相談・見積り  
42年 無料

原一

検索

「逢いたい」「TVのチカラ」他、テレビ番組調査実績成功事例多数

原一探偵事務所は全国主要都市に18拠点



- <フジテレビ>  
 ■カスペ! ■知らない!こわい世界4  
 ■激録・警察密着24時!!〜だから、この事件は起きている  
 ■失踪人追跡スペシャル 他多数
- <TBSテレビ>  
 ■実録!犯罪列島2015冬 ■アッコにおまかせ  
 ■徳光和夫の感動再会“逢いたい” 他多数
- <日本テレビ>  
 ■実録「特命記者」列伝 ■ニュースプラス1 ■スッキリ  
 ■リアルタイム ■パンキジャ 他多数

お問い合わせ先 0120-85-8011

取材のお問い合わせ 0120-37-8011 担当 平木  
 メールアドレス [press@haraichi.co.jp](mailto:press@haraichi.co.jp)